



平成30年9月26日

中部地方整備局

名古屋港湾空港技術調査事務所

「民間技術交流会」の聴講者募集

－ 材料、維持点検の最新技術を紹介 －

1. 概要 中部地方整備局名古屋港湾空港技術調査事務所では、民間事業者等により開発された有用な技術を管内の 港湾整備において積極的に活用していくため、その技術のプレゼンテーションをしていただく場として「民間技術交流会」を開催しております。第19回交流会では、材料、維持点検に関する最新の技術発表を予定しています。その開催に当たり、建設関係に従事されている技術者の聴講を募集します

2. 日時 平成30年11月7日(水) 13時15分～16時20分

3. 場所 TKP 名駅桜通口カンファレンスセンター 3階ホール 3D
〒450-0002 名古屋市中村区名駅3丁目13-5 名古屋ダイヤビル3号館

4. 発表技術 ①海岸侵食対策(サンドバック)用袋材シーガーディアン【前田工織(株)】
②AAP 膨張アンカー【(株)豊和】
③SLJ スラブ【オリエンタル白石(株)】
④イージーM モニター【(株)ニューテック康和】
⑤水中点検フロートロボット【朝日航洋(株)】

※各発表技術の概要は別紙参照

5. 募集要項 募集対象 : 建設関係技術者
募集人数 : 70名程度
参加費用 : 無料
応募締切 : 平成30年10月12日(金) 17時
応募方法 : ◆下記の必要事項を記載したメールを申込先まで送信して下さい(メールの表題に「民間技術交流会」と記載願います)

①お名前

②ご所属・役職

③普段連絡が取れる電話番号

④CPDS 受講証明書 要否

◆申込先 名古屋港湾空港技術調査事務所

pa.cbr-info-gicho@mlit.go.jp



◆メール1通につき応募者1名とします

(応募者が複数である場合は非選定とします)

選定方法 : 応募数が募集人員を上回る場合は、応募締切後、抽選のうえ
決定します

当選通知 : 平成30年10月22日(月)に、当選者のみメールで返信します

6. その他 本交流会は、CPDS(継続学習制度)認定講習会です(3ユニット付与)
7. 配布先 中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、名古屋港記者クラブ、
港湾空港タイムス、港湾新聞、日本海事新聞、海事プレス、
マリタイムデーリーニュース
8. 問合せ先 中部地方整備局 名古屋港湾空港技術調査事務所
技術開発課 村上(むらかみ)、高須(たかす)
連絡先 : TEL 052-612-9984 FAX 052-612-9477



(別紙) 第 19 回 民間技術交流会 発表技術一覧(発表順)

	発表技術	発表者	技術概要
1	海岸侵食対策(サンドパック)用袋材シーガーディアン	前田工織(株)	現地砂や浚渫砂を入れたチューブ状の砂袋を、浜崖対策や突堤など海岸保全施設に用いる技術である。砂袋の素材は高強度ポリエステル織布に人工芝を取り付けたもので、耐摩耗性、耐候性に優れている。景観性や環境性に優れ、従来のコンクリート構造物での整備が難しい砂浜に適している。
2	AAP膨張アンカー	(株)豊和	AAP膨張アンカーをコンクリートに穿孔した孔に挿入するだけで、初期耐力を発揮する過去にない機構を有した高強度の金属系あと施工アンカーです。また、金属系でありながら接着系アンカーと同等の耐力を発揮することができます。
3	SLJスラブ	オリエンタル白石(株)	従来、ジャケット式栈橋などの港湾栈橋にプレキャスト床版を用いる場合、プレキャスト床版同士の接合部には、ループ継手または重ね継手が用いられていた。この工法は、プレキャスト床版の接合部にエンドバンド継手を用いることで、継手部の施工性が向上し、床版厚を薄くできる技術である。
4	イージーMモニター	(株)ニューテック康和	コンクリート構造物の電気防食工法における防食状態の確認を、従来は現地点検で行っていたものから、モバイル型遠隔監視システムを用いた方法に改善した。
5	水 midpoint 検フオートロボット	朝日航洋(株)	自動航行機能を有する遠隔操作式フオート型ロボットにナローマルチビーム式音響測深機・ビデオカメラを搭載し、海底および水中構造物を計測する技術である。遠隔操作により船上作業なく計測が可能となり、安全性の向上および省人化による経済性の向上が期待できる。